

留 学 報 告 書

記入日:2014年5月20日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部/国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 南ユタ大学 現地言語: Southern Utah University
留学期間	2013年8月～2014年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	社会学部
帰国年月日	2014年5月12日
明治大学卒業予定年	2016年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～ 2学期:1月上旬～
学生数	
創立年	1897年
特徴	元は教育大学として設立後、リベラル大学になる。少人数クラスが中心。

留学費用項目	現地通貨(ドル)	円	備考
授業料		円	交換留学のため授業料は払っていない
宿舍費	4,000	400,000円	
食費	1,800	180,000円	
図書費	800	80,000円	
学用品費	100	10,000円	
教養娯楽費	200	20,000円	
被服費	200	20,000円	
医療費	0	0円	
保険費	1,300	130,000円	形態:海外旅行保険
渡航旅費	3,000	300,000円	
雑費	500	50,000円	
その他	5,000	500,000円	年間旅行費
その他	400	40,000円	荷物輸送費
合計	17,300	1,730,000円	

渡航関連

渡航経路: 成田→サンフランシスコ→ソルトレイクシティ→シーダーシティ

渡航費用

チケットの種類	片道航空券
往路	200,000 円
復路	100,000 円
合計	300,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

JTB, 地球の歩き方

取得したビザについて教えてください。

ビザの種類: J-1

ビザ取得方法: 必要書類の準備、面接

その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。

時期によってビザの面接は混んでいて予約が取りにくいので、早めに準備した方がいいと思います。

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学寮

2) 部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3) 住居を探した方法:

大学側のすすめ

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

寮は一年生が多くとてもにぎやか(うるさい)ので、部屋はプライベートのある個室を勧めます。私の場合、近隣のアパートの方が値段も安かったのも、そういったところやホームステイを探すのもひとつの手だと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

基本的には国際センターに相談していた。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ネットで情報を集めていたが、シーダーシティはとても田舎なので危険は全くなかった。旅行中の方が危険だと感じることは多かった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは繋がりにくいので、図書館でパソコンを利用することも多かった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードの使用がほとんどだったが、現地で銀行口座も開設し、日本の親から送金してもらった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

基本的に全て現地で調達できるが、日本食はないものも多いので、持って行っていいと思う。

進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計

本学で認定された単位数合計

※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。

25 単位

22 単位

単位認定の申請はしません(理由:)

2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。

履修した授業科目名(留学先大学言語):

履修した授業科目名(日本語):

American Civilization

アメリカの歴史

科目設置学部・研究科

歴史学

履修期間

2013 年8月~12月

単位数

3

本学での単位認定状況

3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)

授業形態

講義

授業時間数

1週間に 50 分が 3 回

担当教授

Ryan Paul

授業内容

古代から近代にいたるまでのアメリカ史全般

試験・課題など

試験は3回、レポートは授業中に見たビデオの感想について最低4回

感想を自由記入

講義形式で内容もアメリカについてなので、覚える量も半端でなく、ついていくのに毎回必死だったが、先生も面白く、友達も手伝ってくれたので頑張れた。最終試験はその場で問題に答えるというものでとても不安だったが、案外簡単だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	社会学
履修期間	2013年8月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	少人数講義、ディスカッション
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Andrew Van Alstyne
授業内容	社会学における基本的用語や思想、人間の行動、アメリカ社会の歴史や黒人差別問題、女性差別、階級差別 など
試験・課題など	試験は5回、自分で読んだ授業に関連する記事についてのレポート3回
感想を自由記入	日本ではなかなか習わないような、アメリカの社会問題について触れられたので面白かった。特に黒人問題はビデオを見たり、話しあったりしていろいろ考えさせられた。面白い動画などもたくさん見せてくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Diversity	多様性入門
科目設置学部・研究科	社会学
履修期間	2013年8月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Kholoud Al Qubbaj
授業内容	各国の宗教、民族、人種、身体の多様性や、共存について
試験・課題など	試験は2回、レポートは授業の感想について3回と、個々で見た各国を紹介するビデオについて最低1回、一つの国や民族に関するグループプレゼン1回
感想を自由記入	東アジアや中東からの留学生が多いクラスで、先生も中東の方だったので、さまざまな宗教観を学べて面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural Communication	異文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	コミュニケーション
履修期間	2013年8月～12月
単位数	3
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Johnny Oh
授業内容	異文化との関わり方や衝突した際の反応や対処の仕方についてビデオを見たりディスカッションをしたりした
試験・課題など	クイズが5回、試験が1回、プロジェクトが1回など
感想を自由記入	日々の生活の中でハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化の違いを多々感じるので、授業の内容を普段の生活の中で活かせたり、考えたりできようになったし、いろいろな意見を聞けて面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Principles of Macroeconomics		マクロ経済	
科目設置学部・研究科	経済学		
履修期間	2014年1月～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	David Tufte		
授業内容	マクロ経済入門、国内経済、金融政策、貿易		
試験・課題など	試験は5回、チャプターごとにインターネット上の課題		
感想を自由記入	一番難しいクラスだったが、先生はとても生徒思いで、内容も面白かったので頑張れた。アメリカの海外との繋がりも触れるので、実践的で為になった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Hospitality		ホスピタリティー入門	
科目設置学部・研究科	経営学		
履修期間	2014年1月～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Jace Burgess		
授業内容	ホテル、観光、レストラン、テーマパークなどのホスピタリティー産業の仕事内容や役割について		
試験・課題など	試験は5回、自分で選んだホスピタリティー企業の動向などについてのレポート3回、自己の経験についての個人プレゼン1回		
感想を自由記入	元々ホスピタリティー産業に興味があったので授業内容もとても面白かった。先生がホテルのマネージャーなのでホテル産業の動向についていろいろと学べてよかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Academic Writing		アカデミックライティング	
科目設置学部・研究科	英語		
履修期間	2014年1月～5月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッションなど		
授業時間数	1週間に80分が2回		
担当教授	Nathan Price		
授業内容	エッセイの書き方、文章表現、文法		
試験・課題など	エッセイが3回、パートナープレゼン1回、毎時間の課題		
感想を自由記入	ライティングは今までもやっていたが、現地で習うとより明確な書き方や表現方法を学べたので為になったし、クラスも少人数で和気あいあいとした雰囲気楽しかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Mandarin Chinese 1		中国語入門	
科目設置学部・研究科	中国語		
履修期間	2014年1月～5月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、ディスカッション等		
授業時間数	1週間に50分が4回		
担当教授	Peijian Wang		
授業内容	中国語の入門編、会話、文法など		
試験・課題など	一回短い課題があったが、あとは最終試験1回のみだった。		
感想を自由記入	初めて中国語を学んだので新鮮でとても面白かった。ほぼ毎日あるし、6人の少人数クラスだったので身に付き易く、のびのびと学べた。		

留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。(形式は簡条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	英語力向上に向けて勉強
4月～7月	ビザ取得の準備、荷物準備、派遣先とのやり取り、寮の確保、授業登録
8月～9月	初めてのアメリカでの授業の大変さに落胆しつつ、 ついていくのにもものすごく必死の日々。 留学生同士の交流、グランドキャニオンキャンプ
10月～12月	10月頃は日本が恋しくなるも次第に友達も増え始め学校が楽しくなる。 イースター休みは友達とソルトレイクへ。 12月初旬の試験勉強に必死。 冬休みは明治の友達と再会し、フロリダ旅行♪
2014年 1月～3月	新しいクラスに始めは戸惑うもすぐに慣れて、友達も増える。 週3くらいでジムに通う。春休みやラスベガス、ロサンゼルスへ。
4月～7月	最後の4月は帰り支度、荷物郵送、試験勉強
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	時間のある、最後の学生生活の間に大きな経験をしたいと思い、留学は英語力向上だけでなく多くのものを学べるチャンスだと思ったからです。一年間のプログラムにしたのは友達に後押しされたのと、より長期で行けた方がいい経験になると思ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	やはり語学力をもっと向上させておくことが一番必要だったと思います。授業の課題は膨大で、毎日何十ページのリーディングや、レポートの課題などをこなさなければいけません。その他にも、高い語学力を持っていた方が、自信にも繋がり、周りの人ともっと仲良くなりやすいように思いました。
この留学先を選んだ理由	大都会での生活から外れた田舎での生活をしてみたかったからです。山に囲まれ、自然豊かで、のんびりとしたとても小さな町で、町の人は地元愛のある人ばかりでした。大学も少人数クラスばかりなので、生徒と先生の距離も近く、親しみやすかったです。
大学・学生の雰囲気	大学はほぼ毎日いろいろなイベントが開催されていて、活気があり、学生も優しくて、勉強熱心な人が多かったです。学生数が5千人ほどなので、学生同士知り合いも多く、いろいろな人と仲良くなれます。モルモン教の学生が多いので、日曜は多くの人が大学横にある教会に行っていました。
寮の雰囲気	寮は一年生が入居することが多く、夜遅くまでにぎやかなので、睡眠を妨害されたり、勉強に集中できないこともありました。しかし、現地生と共に暮らすことで友達も増えまし、アメリカ文化を肌で感じられたのはいい経験になったと思います。
交友関係	留学当初は生活にも慣れずに友達もなかなか作れませんでした。次第に慣れ始め、友達が自分の友達を紹介してくれたり、イベントなどに参加したりしているうちに、徐々に友達の数も増えていき、後期はより充実した日々を過ごすことができました。
学習内容・勉強について	専攻は社会学で、アメリカの社会問題や、歴史、国際文化交流などを中心に学びました。授業のスピードが早く、始めは全くついていけず落ち込みましたが、授業を録音して聴き返したり、予習、復習にとっても時間をかけたりして取り組みました。こちらが必死になっていると、先生は大体気づいてくれて、サポートしてくれました。
課題・試験について	週に1回以上はなんらかの試験があるような状況だったので、毎日授業後は図書館にこもって自主勉、課題をしていました。前期はこなすのにもとても時間がかかっていましたが、次第に慣れてくるとレポートの時間もかからなくなってきたり、ポイントを絞って予習したりと、学力向上と共に、取り組み方も上手くなっていったと思います。
大学外の活動について	町にあるシアターで開催される、劇やダンスショーを観に行ったり、インターナショナルフェアで日本文化を紹介したりしました。また、さまざまなナショナルパークに行き、キャンプをしたり、BBQをしたりもしました。
ある平日のスケジュール	7時 起床 9時～12時 クラス 12時～15時 昼食、勉強 15時～16時 クラス 16時～17時 ジム 17時～19時 夕食、自由時間 19時～23時 勉強 23時 就寝
ある休日のスケジュール	7時 起床 9時～12時 勉強 12時～13時 昼食 13時～17時 買い物、昼寝、自由時間 17時～19時 夕飯 19時～23時 勉強 23時 就寝
留学を志す人へ	留学期間をどう過ごすかは自分次第ですが、私は留学に成功、失敗はないと思います。周りや自分自身のプレッシャーを感じることもあっても、それ以上に、自分が充実していると感じられる日々を送ることを大切にしてほしいです。この一年間で私が得たものはとてもたくさんあるので、努力を続けられる人には留学は本当に価値のあるものになると思います。